

ひろしま木育アカデミー2022 第4回ものづくり編「ものづくりを取り入れた木育1-木のはしづくり」を8月27日(土)に広島大学東広島キャンパス・教育学部の木材加工実習室にて開催しました。

はじめに、「木育におけるものづくりの意義」とそれに関連するような「実践事例紹介」についてお話ししました。今回はものづくりを木育の中で行うことによる教育的な効果として、木材の特徴の実感と知識・技能の理解、問題解決や創造力、協調性などの(非認知)能力の育成に繋がる可能性などについて、私見を含めて紹介しました。実践事例紹介では、今回のはしづくりと同様に構想・設計(デザイン)を含む木のスプーンづくりや丸太のコースターづくりなどについて、実践プログラムと一緒に紹介しました。

次に、「木のはしづくりを体験しよう」として、最初に構想・設計(デザイン)を行うはしづくり、つまりはしに使う木の種類を選び、形や大きさ、工夫点などを考え、イラストなどにまとめた後で製作する一連の流れを体験して頂きました。「安全で使いやすい木のはし」の設計やかんななどの工具の使い方にとまどったり、難しそうなお様子が見られましたが、多くのみなさんが自身が設計したはしに近いものをつくることができました。

最後の「木育プログラムを企画しよう」では、「ものづくりを通して木材に触れる・知る」をテーマに、まず木のはしづくりを体験したときに考えたこと・気づいたことをグループ内で共有しました。そして、小学校5、6年生を対象に木のはしづくりを実践する際の工程・時間・内容・ポイント・安全面の配慮を考え、プログラム(製作工程表)として1枚の紙にまとめました。



4回目のひろしま木育アカデミー2022では、木育の活動として最も実践されているものづくりに着目したセミナーを開催しました。特に、かんなで木を削る作業が想定以上に大変なお様子が見られましたが、木材の特徴を感じ、工具をうまく使いながら、最後には完成したはしに満足されている様子を見ることができました。今回の経験が、ものづくりを取り入れた木育の実践につながればいいなあと考えているところです。

次回は、9月3日(土)第5回ものづくり編「ものづくりを取り入れた木育2-木の連絡帳収納ボックス」 in 広島大学東広島キャンパス・教育学部となります。多くの皆さんの参加をお待ちしています。